

# TOKYO UNION THEOLOGICAL SEMINARY

2013





全世界に行って、  
すべての造られたものに福音を  
宣べ伝えなさい。 マルコによる福音書16章15節

## 世界を根底から 新たに変革する力

東京神学大学学長  
芳賀 力



福音とは喜ばしい知らせのことです。悲しみや苦しみに打ちひしがれているこの世界に、喜ぶことのできる御言葉の種を届けること、今こそそれが求められています。でもそのことに携わろうとする働き人が足りません。

「イエスは舟から上がり、大勢の群衆を見て、飼い主のいない羊のような有様を深く憐れみ、いろいろと教え始められた」(マルコ6:34)。飼い主のいない羊の状況、それは今もなお私たちの世界の状況です。どう生きたらよいか分からず迷い続ける現代の羊たちにも、羊飼いがが必要です。でもそのことに携わろうとする貴重な人材が足りません。

ぜひここに来て、御言葉の種蒔きをする働き人に、そしてまことの羊飼いに仕える羊飼いになるための、最強の知識と訓練を身につけてください。

ここには、キリスト教神学を専門的に探求し研鑽する学問的集中があります。しかしそれは、常に幅広い視野に立った上での集中です。この深さと広さをたえず意識しつつ、世界水準での神学的専門知を提供しようとしています。しかしすべては、現代を生き悩む人々に希望の種を正しく届け、傷ついた魂の牧者となるためにこそあります。

グローバル時代を迎えている今、日本は内向きになるのではなく、人も文化も新たに変革される必要があります。そして世界を超えた神の言葉だけが、世界を根底から新たに変革する力を持っているのです。





東京神学社の学生と教師

「日本の教会と神学校はなぜ合同したがるのですか？」これは十年ほど前本学を訪問した韓国の一神学大学の学生たちが、本学に合流した多様な旧教派神学校の系統図を見て発した驚きの問いです。一つの答えは様々な教会合同運動（エキュメニズム）を主動機とし、教派を建設する動機も絡み織りなすドラマ——これが歴史的に見た日本伝道のシナリオと言えます。

三段跳び式に言えば、ホップ段階の明治初期、信仰復興の福音を伝えた日本基督公会という19世紀の合同運動が、教派形成と対抗して移植されました。宣教師ブラウンの神学塾は本学の遠く遙かなる一源流です。

ステップ段階は、20世紀エキュメニズムの日本基督教連盟をエンジンとした教派の協力合同運動の時期です。この頃二つの神学教育機関、東京神学社と明治学院神学部が合同し、日本神学校が誕生しました（1930年）。

このステップの上に、第二次世界大戦時の国家による宗教団体法の超突風も加わり、当時のプロテスタント30余派は多教派間合同教会、日本基督教団へジャンプしました（1941年）。この教団の教職養成校、日本東部および西部神学校、日本女子神学校が合同した日本基督教神学専門学校（1944年）を経て、戦後の1949年に新制東京神学大学が誕生したわけです。

以来、聖書と歴史的な信仰告白の資産を継承し、「教団信仰告白」を規準とした、健全な福音の伝道と諸教会に開かれた神学教育、教団形成の更なるジャンプに努める神学大学——これが本学の基本姿勢です。

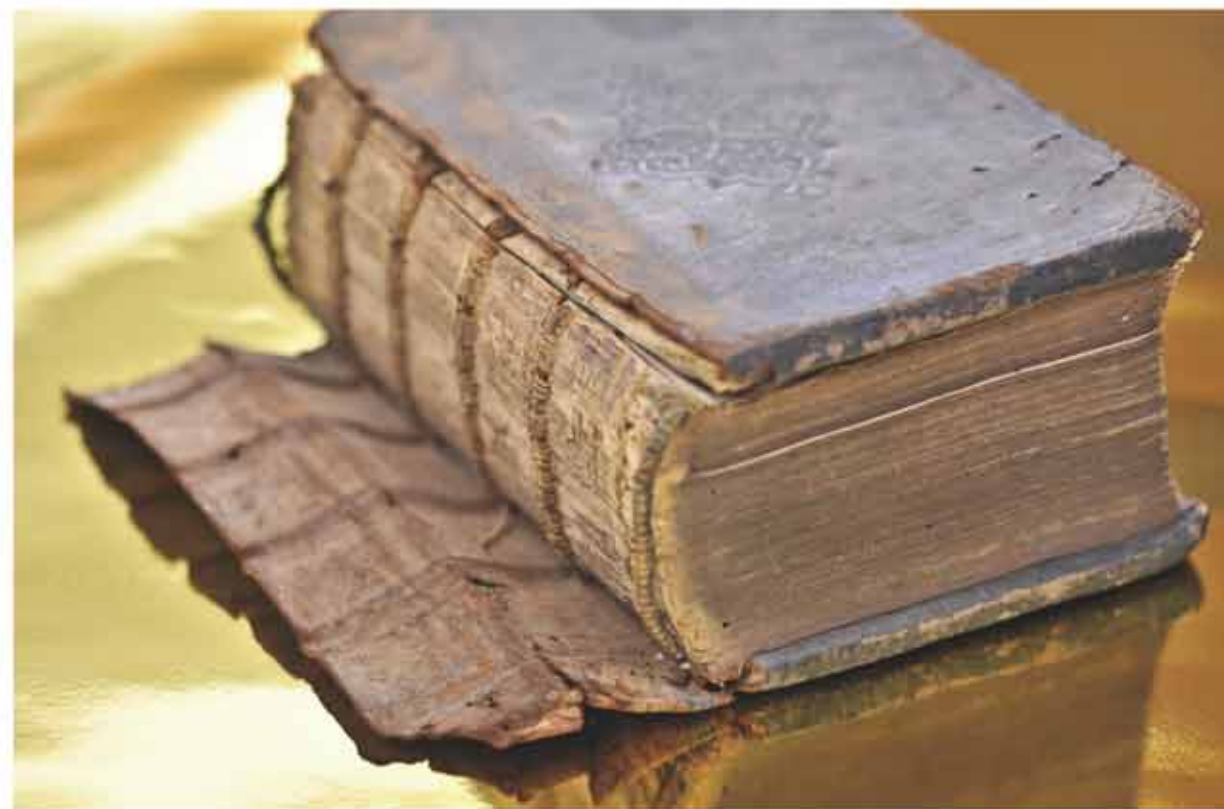
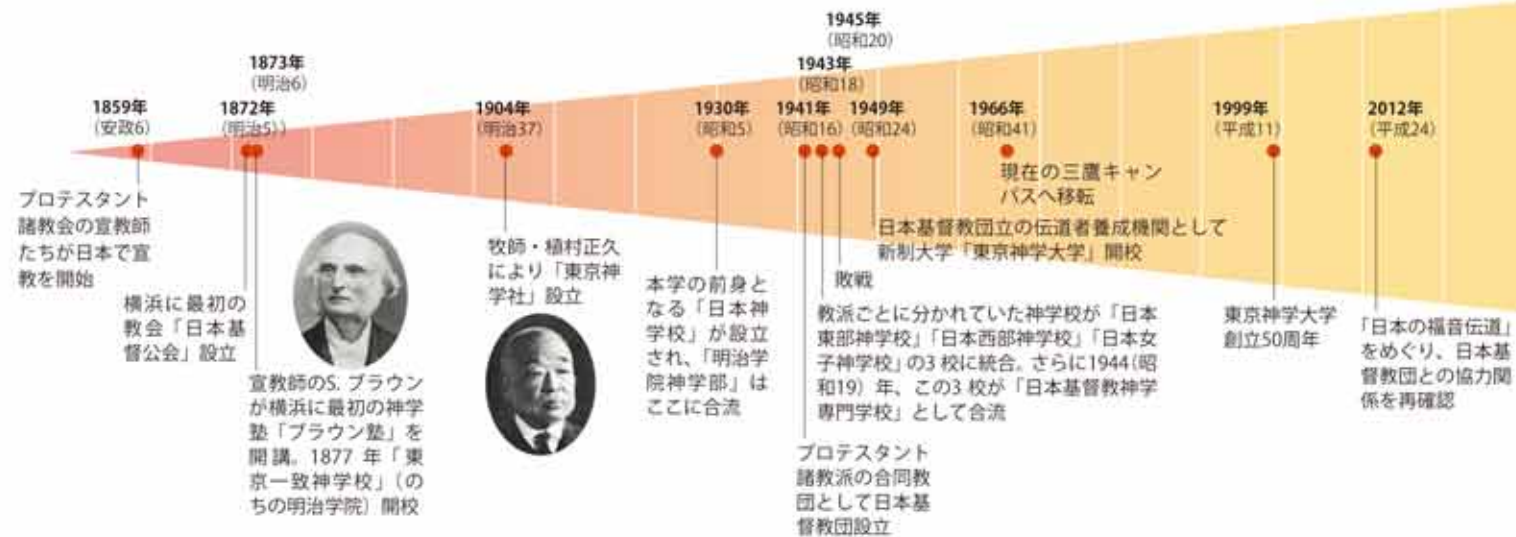


切支丹禁制の高札



ヘボン訳聖書  
(ルカ伝、ヨハネ伝、ローマ書)

1850 1860 1870 1880 1890 1900 1910 1920 1930 1940 1950 1960 1970 1980 1990 2000 2010 2020



カルヴァンの『キリスト教綱要』 ジュネーブ 1568年

## 東京神学大学の諸活動

### 【公開夜間神学講座】

1947年以来、信徒、役員、教会学校教師の教育のために、本学の教授を中心としたすぐれた講師陣による公開夜間神学講座が行われています。日本基督教団銀座教会にて、毎週月・金曜日に開講されています。

### 【東京神学大学総合研究所】

総合研究所は、日本伝道研究所とアジア伝道研究所から成る学術的な共同研究の拠点です。それぞれ講演会、セミナー、研修旅行等を実施しています。

### 【刊行物】

左記の総合研究所からは、研究論文や講演を載せた『伝道と神学』が毎年刊行されます。その他、神学雑誌『神学』、東神大パンフレットなどを刊行しています。特に東神大パンフレットは、諸教会における信徒教育のテキストとしても広く用いられています。



## 全員が伝道者を目指す “召命共同体”

東京神学大学の学生は自らの学びの場をしばしば“召命共同体”と称します。これは、学生も教師も神の呼び出しに応えるために、常に自らの召命を神の前に問いつつ、授業と研究はもちろん、毎日の礼拝やクラスごとの祈禱会を通して、生きた神学の研鑽に励んでいるからです。そのため入学に際しては、自分が神から召されているか、つまり“召命”が厳しく問われます。学びへの興味、意欲だけでなく、福音の伝道者として神に召されているのか。キリストの血を代価として罪から買い取られたことを心に刻み、これまでの自分を捨て去って主イエス・キリストに献身する決意があるかどうかという問いです。伝道者を目指して神学を追求するには、学問を究める理性と神と向き合う霊性がひとつになることが大切だからです。

## 教会による教会のための 合同神学校

東京神学大学は、1949年に日本基督教団立の新制大学としてスタートしました。しかし、そこに至るまでの歴史は古く、明治初期のブラウン塾に端を発し、多くのプロテスタント諸教派の神学校が合流してできた合同神学校（ユニオン・セミナリー）です。神学教育機関として各神学校の伝統を引き継ぎつつ、日本のプロテスタント諸教会が総力を注いで育んだ高度な神学教育を提供しています。

「教会による、教会のための大学」と呼ばれるのは、卒業生の大半が教会に仕える伝道者となるからです。このため、神学生の必要経費の約半分は全国各地の教会からの献金で支えられています。

## 教会だけでなく キリスト教学校を通して 伝道する

キリスト教学校に派遣されて若い魂に福音を語ることも、“伝道者”や“牧師”の働きです。本学の大切な使命の一つとして、プロテスタントのキリスト教主義中学校、高等学校における宗教科・聖書科の教師（教務教師）を養成することも挙げられます。本学では、通常の神学教育プログラムと並行して教育職員免許状取得のための課程があり、これまでも多くの教師を送り出してきました。彼らの学校での働きの中からも、次世代を担う多くの受洗者、献身者が起こされています。



## 学部1年からは6年間 学部3年からは4年間

キリスト教の伝道者として整えられるためには、充実した学びが必要です。本学では、学部から大学院までを一貫した神学教育プログラムとして提供しています。このため、ほとんどの学生が、学部1年から入学した場合は、学部4年間と大学院2年間の計6年間、学部3年から編入学した場合（大学卒業者の場合）は、学部2年間と大学院2年間の計4年間かけて神学を学びます。

## 教育職員免許状（宗教）の 取得が可能

本学の教職課程は1954年に設けられ、今日まで多くの優れた聖書科教師を輩出してきました。免許状は、教会付属幼稚園の園長となる際にも有効に用いられています。さらに、免許状を取得した卒業生の多くは、教会と良い関係を築き上げ、伝道に貢献するだけでなく、キリスト教教育を通して、公教育にも貢献してきました。本学の教職課程は、キリスト教主義学校において教育と伝道の業に励みつつ、建学の精神を実質的に担う教師を養成することを目標としています。

- ・中学校教諭一種免許状（宗教）
- ・高等学校教諭一種免許状（宗教）
- ・中学校教諭専修免許状（宗教）
- ・高等学校教諭専修免許状（宗教）

## 神学の学びと教会生活の両方で 伝道者として整えられる

本学は「神学校と教会は車の両輪である」という理念を掲げています。そのため神学生にとって教会生活は、大学での学びと並行する重要なものです。神学生はそれぞれの出席教会の礼拝に加わり、奉仕し、交わりの時を持ちつつ、牧師の指導のもと、教会に仕えることを学びます。さらに、神学校のプログラムとして学部4年次、大学院1年次に「夏期伝道実習」があり、全国各地の教会に遣わされて約4週間の伝道実習を体験します。

## 博士課程後期課程に 長期履修学生制度を新設

長期履修学生制度は、博士課程前期課程を修了し、後期課程に進学する方々のために、2012年度に設けられました。標準修業年限（3年）を超え、一定の期間にわたり計画的に後期課程での学び・研究をすることができ、牧師や教務教師として在職のまま博士の学位取得を目指すことが可能です。

## 開かれた学び 一般時間

火曜日午前10時半からの一般時間には、外部から著名な講師を招いての講演会、本学の教員によるフォーラム、さらには学生会の総会や懇談会など、年間を通じて多彩なプログラムが計画されています。全学生が、神学と諸学の学び、学生生活を共有する貴重なひとときです。

### その他の特徴



#### 神学専門図書館

東京神学大学の神学専門図書館は、古今東西のキリスト教文献およそ10万冊（洋書約6万冊、和漢書など約4万冊）を収蔵し、学内のみならず、学外の研究者にも広く利用されています。



#### 徹底した少人数教育

学部および大学院の在籍学生数は120名前後で、教師と学生の比率はおおよそ1:9。この恵まれた環境の中で、教師と学生はお互いに深く知り合い、交わりながら共に学びます。



#### 留学生

全学生のうち約10%が留学生で、韓国と中国の出身者が多くを占めます。「母国だけでなく、日本で伝道したい」という彼らの熱意は、日本人学生にも大きな刺激となっています。



## 聖書の成立を知り、解釈を学ぶ

### 聖書神学

#### ●聖書に、何が伝えられているのか

聖書学/聖書神学とは、私たちの礼拝の中で朗読される聖書に、何が伝えられているかを解明する学問です。説教は、教会によってたてられた説教者が、聖書に基づいて語るときに、神の言葉として聞かれます。説教者が自分の思いを語るのではなく、聖書が証するキリスト御自ら語ってくださいます。

#### ●勝手に読みこみを批判し、吟味する学問

しかしどのようにして、説教者の勝手に読みこみと、聖書それ自身が聖霊によって証言する主の御心を聞き分けることができるのでしょうか。聖書学/聖書神学は、聖書のテキストを、それが語られた歴史の中に戻し、本来どのような歴史の中で、何を告げようとしたものなのかを解明します。またそのテキストが、どのように伝えられ、解釈されてきたかを学びます。それによって、私たちの読みを批判し、吟味するのです。学んだ人は、聖書の成立や伝承の歴史を知り、釈義の手法を身につけ、語学、文献学、文学、歴史学、考古学といった財産を得ることになります。

## 2000年の諸教会の歴史を学ぶ

### 歴史神学

#### ●歴史神学/教会史とは

歴史神学/教会史とは、歴史学という学問的ファインダーを覗き、たとえば2000年にわたり世界史道を走りしてきたキリスト教諸教会バスの信仰的歩みと、それらの信仰・実践の縦資産を撮影し点検する学科です。「歴史神学」は、主に教会バスの燃料にあたる福音理解などの神学思想史、「教会史」は、バスの車体にあたる礼拝と祭儀、教会制度や組織的発展に注目します。それらの研究によって、現代教会の今後の形成のために具体的な諸指針を学ぶためです。

#### ●古代から宗教改革を経て現代まで

学部では、古代から現代日本までの教会の歩みを辿る教会史Ⅰ～Ⅴ、教理史(選択)、世界と日本の宗教史、ラテン語(選択)などを学びます。大学院では、古代から現代までの欧米、日本の教会の教理史、神学思想史、霊的生活史などの科目が開講され、学部での学びが更に深められるようコースが用意されています。

## 神の真理を総合的に明らかにし、神讚美へと至る

### 組織神学

●教義学を中心に、倫理学、弁証学の三分野から成る組織神学は、神の恵みの真理をできる限り深く解明し、それを責任的に証言しようとする学問です。「教義学」は、神の啓示を証言する聖書に基づき、父・子・聖霊なる三位一体の神とその御業を、体系的、組織的に考察します。「倫理学」は、キリスト者と教会が具体的な生活の場でどのように振る舞い行動すべきなのかを考察します。そして「弁証学」は、現代社会にあってキリスト教に向けられるあらゆる疑問に対して、福音の真理を明証しようとするものです。組織神学は、それら相互の関連を総合的な見地から明らかにし、一貫した整合的理路を見出そうとするものです。

#### ●教会とキリスト者を支えて、神を讃美する

神学は人間の業ですから、誰が試みた神学も完全ではありません。常に「より深く、より明らかに」祈りをもって神の真理を解明し続ける旅人の神学です。そのようにして人類に、「世の光」としての神の真理を伝え、教会とキリスト者の信仰を支え、神の御名を讃美します。組織神学は知的興奮が神讚美に至る素晴らしい学問です。

## 牧師になるための実践的な学び

### 実践神学

#### ●神の実践に参加するために

実践神学とは、もともと「牧者の学」「司牧学」と呼ばれていました。現在は「神の実践」すなわち「神の救済行動」を主題とすることを明確にするために「実践神学」と呼んでいます。牧師のつとめは、生きて働かれる「神の実践」に参加させていただくことです。「神の実践」とは「神の救済の御わざ」です。神の救済行動の中で人間が神の道具として用いられるために「説教学」「礼拝学」「牧会学」「キリスト教教育学」「教会の法と制度」の学びが必要になります。

#### ●召命と自己吟味の課題も

神が主導権をとってくださる時、人間が〈牧者・羊飼〉としてたてられ、神に用いられる奇跡がおこります。一人の人間が〈牧師〉とされる「神の召命」について学び、自己吟味する課題も「実践神学」の重要な学びのひとつです。十字架の福音の伝道によって神の民を集め、神の国を待ち望む「日本伝道論」は、実践神学の主要な関心事です。

①経歴 ②研究、関心領域 ③主な担当科目



#### 芳賀 力 (はが つとむ)

① 1979年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒(神学博士)。日本基督教団正教師。1987年着任。現在、教授。  
② キリスト教組織神学(教義学、倫理学、弁証学)。現在『神学の小径Ⅰ-啓示への問い』、『神学の小径Ⅱ-神への問い』で、キリスト教信仰の新しい体系的考察に取り組んでいます。物語る教会を土台にした教会の教え(教理)の再構築です。③組織神学、組織神学演習など。



#### 大住 雄一 (おおすみ ゆういち)

① 1983年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒(神学博士)。日本基督教団正教師。1990年着任。現在、教授。  
② トーラーの解釈。旧約を眺むと、律法は人を縛るものではなく、喜びであり、恵みとして讃美されています。律法とは何でしょう。教会でもその恵みを共に味わいたい。その恵みを探す研究です。  
③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典義など。



#### 朴 憲郁 (パク ホンウク)

① 1974年東神大大学院卒。監理神学大学研修。韓国イエス教長老会神学大学院卒。独チュービンゲン大学神学部博士課程卒(神学博士)。在日大韓基督教団正教師(現在、日本基督教団への宣教師)。1994年着任。現在、教授。  
② キリスト教教育、アジア・キリスト教伝道学、新約神学、  
③ キリスト教教育概論、アジア伝道論演習、キリスト教教育特講など。



#### 神代真砂実 (こうじろ まさみ)

① 1987年東神大大学院卒。英アバディーン大学神学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。1998年着任。現在、教授。  
② 教義学、特にカール・バルトの神学思想。キリスト教の信仰内容を体系的に関連づけたり、現代社会とキリスト教との関係を考える分野が専門です。「ミステリとキリスト教」ということさえ扱います!  
③ 神学通論、組織神学、組織神学演習など。



#### 中野 実 (なかの みのる)

① 1987年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。2001年着任。現在、教授。  
② これまで信仰と歴史の関係に神学的関心を抱きつつ、史的イエス研究、福音書研究に従事。現在、ヘブライ語の研究も開始し、註解書を執筆中です。  
③ 新約聖書神学、新約聖書釈義、新約聖書学特講など



#### 焼山満里子 (やきやま まりこ)

① 1997年東神大大学院卒。米クレアモント大学院大学宗教学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。2007年着任。現在、准教授。  
② 新約聖書、特にパウロ研究。パウロの伝道、教会形成について、またパウロ教会を中心とした初期キリスト教思想形成を研究しています。  
③ 新約聖書神学、新約聖書釈義など。



#### 須田 拓 (すだ たく)

① 2000年東神大大学院卒。英ケンブリッジ大学神学部留学。東神大博士課程修了(神学博士)。日本基督教団正教師。2013年着任。現在、常勤講師。  
② 神が三位一体のお方であることが信仰全体にどのように影響しているかや、神の御業と人間の自由の関係について、また17世紀イギリス・ピューリタン神学の現代における意義について研究しています。  
③ 組織神学演習、キリスト教通論など



#### 山口隆康 (やまぐち たかやす)

① 1970年東神大大学院卒(神学修士)。独ハイデルベルク大学留学。日本基督教団正教師。1986年着任。現在、教授。  
② 研究領域は説教学、礼拝学、牧会学、教会法など日本における伝道と教会建設に取り組み実践神学。担当科目は、説教学演習、礼拝学演習、牧会学演習、日本伝道論演習など。  
③ 実践神学概論、説教学演習など。



#### 棚村重行 (たなむら しげあき)

① 1977年東神大大学院卒。米シカゴ大学神学部博士課程卒(哲学博士)。日本基督教団正教師。1993年着任。現在、教授。  
② 19世紀アメリカ神学思想史、19世紀日本プロテスタント神学思想史など。2009年に『二つの福音は波濤を越えて』を出版しました。現在は、『二つの福音は山河を越えて』というテーマで、日米神学思想一関係史の研究を続けています。當的生活史では、三位一体の神の像とその回復を主題とし、学びを続けています。③ 教会史、教会史特講など。



#### 関川泰寛 (せきかわ やすひろ)

① 英エディンバラ大学神学部卒。1983年東神大大学院博士課程卒(神学修士)。日本基督教団正教師。1996年着任。現在、教授。  
② 古代教会史、教父学など。古代の教会史・教理史の研究をしています。4世紀の正統と異端の論争、教理と礼拝や霊性との関係、キリスト論や三一論の形成など。主著に『アタナシオス神学の研究』があります。  
③ 教会史、教理史演習など。



#### 小友 聡 (おとも さとし)

① 1986年東神大大学院卒。独ペーテル神学大学卒(神学博士)。日本基督教団正教師。1999年着任。現在、教授。  
② 旧約聖書およびユダヤ教の黙示思想など。旧約聖書の中で後期の文学が研究領域。コヘレトの言葉やダニエル書など周辺的な文書から旧約(ユダヤ教)の思想や倫理を探求しています。コヘレトの言葉と黙示思想の関係に関心があります。  
③ 旧約聖書神学、旧約聖書原典義など。

#### バストラル・ケア担当 ウェイン・ジャンセン (Wayne Jansen)

① 米ウェスタン神学大学院博士課程卒(牧会学博士)。米国改革派教会正教師(現在、日本基督教団への宣教師)。2002年着任。現在、教授。  
② 学生の相談を受けるバストラル・ケア・センターの室長です。「臨床牧会教育」を担当し、受講者が自らの個人的な課題を把握することを通じ、より有能な牧会者になることが目的です。  
③ 牧会心理学、臨床牧会教育など。



#### 小泉 健 (こいずみ けん)

① 1997年東神大大学院卒。独ハイデルベルク大学神学部博士課程卒(神学博士)。日本基督教団正教師。2008年着任。現在、准教授。  
② 説教学、教会建設論など。宗教改革者は教会を「御言葉の創造物」と呼びました。説教が教会を建設するとはどういうことかを、改めて探求しています。そこから教会のあらゆる営みへと課題が広がります。  
③ 実践神学概論、説教学入門など。

#### 教職課程担当 長山 道 (ながやま みち)

① 2002年東神大大学院卒(神学修士)。現在、独ボン大学神学部博士課程在籍。日本基督教団正教師。2013年着任。現在、常勤講師。  
② キリスト教教育学、組織神学。「すべてのキリスト教教育は信仰への道である」というコンセプトのもと、福音伝道としてのキリスト教教育に実践神学的・組織神学的にアプローチします。  
③ 教育基礎論、英語・独語神学講義(組織)など





## 学部

★必修科目 ☆選択科目 ※選択必修科目 ◇専攻必修

	1年	2年	3年	4年
<b>学際基礎科目</b> <b>神学基礎科目</b> <b>外国語科目</b> <b>保健体育科目</b>	<b>【学際基礎科目】</b> ＊哲学思想史 ＊キリスト教と世界史 ＊キリスト教と文学1 世界文学 ＊キリスト教と文学2 日本文学 ＊キリスト教と芸術1 美術史 ＊キリスト教と芸術2 音楽史 ＊心理学 ＊社会史 ＊法と人権1 法学概論 ＊法と人権2 日本国憲法 ＊宗教と社会1 デモクラシーと政治 ＊宗教と社会2 ウェーバーとトレルチ ＊現代の自然観 ＊生命の理解とバイオエシックス ＊精神医学とキリスト教 ＊保健衛生 ＊情報基礎	<b>【外国語科目】</b> ★英語Ⅰ ☆英語Ⅱ ☆英語実践Ⅰ・Ⅱ ★ドイツ語Ⅰ ☆ドイツ語Ⅱ <b>【保健体育科目】</b> ★体育Ⅰ・Ⅱ <b>【神学基礎科目】</b> ★キリスト教通論Ⅰ・Ⅱ ★聖書通論1 旧約通論 ★聖書通論2 旧約時代史 ★聖書通論3 新約通論・歴史 ★神学通論	1年次入学者は、原則としてこれらの科目を2年間かけて履修・修得する。 3年次編入学者の場合、神学通論を除き、基本的にこれらの科目が認定されるが、履修を奨励している。	
<b>専門教育科目</b>		<b>【聖書神学関係】</b> ★旧約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★新約聖書神学Ⅰ・Ⅱ ★ギリシャ語Ⅰ・Ⅱ <b>【組織神学関係】</b> ★組織神学Ⅰ <b>【歴史神学関係】</b> ★教会史Ⅰ・Ⅱ  3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。	<b>【聖書神学関係】</b> ◇ヒブル語Ⅰ・Ⅱ ☆イスラエル古代史 <b>【組織神学関係】</b> ★組織神学Ⅱ <b>【歴史神学関係】</b> ★教会史Ⅲ・Ⅳ・Ⅴ ★宗教史Ⅰ・Ⅱ <b>【実践神学関係】</b> ☆教会実習Ⅰ・Ⅱ ☆教会教育入門 ☆牧会心理学 ☆臨床牧会教育 ☆説教学入門 <b>【古典語】</b> ☆ラテン語 <b>【神学書講読】</b> ＊英語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ ＊独語神学書講読・聖書Ⅰ・Ⅱ ＊英語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ ＊独語神学書講読・組織Ⅰ・Ⅱ ＊英語神学書講読・組織歴史Ⅰ・Ⅱ	<b>【聖書神学関係】</b> ★旧約聖書神学Ⅲ ☆旧約聖書神学Ⅳ ★旧約聖書積義 ★新約聖書神学Ⅲ ☆新約聖書神学Ⅳ ★新約聖書積義 ◇新約原典講読Ⅰ ☆新約原典講読Ⅱ ☆新約時代史 ☆シリア語 ☆アラム語 <b>【組織神学関係】</b> ★組織神学Ⅲ <b>【歴史神学関係】</b> ☆教理史Ⅰ・Ⅱ ☆アメリカ教会史 <b>【実践神学関係】</b> ★キリスト教教育概論 ★実践神学概論 <b>【専攻間共同科目】</b> ☆アジア伝道論演習 <b>【学部演習】</b> ＊旧約聖書学部演習 ＊新約聖書学部演習 ＊組織神学学部演習 ＊歴史神学学部演習
<b>教職課程科目</b>	教職概論	教育基礎論Ⅰ・Ⅱ 宗教科教授法A・B	心理発達と教育 道徳指導法 特別活動指導法 教育的指導と相談の研究Ⅰ・Ⅱ	教育の方法と情報技術Ⅰ・Ⅱ 教職実践演習(中・高) 教育実習Ⅰ・Ⅱ
※教育職員免許状取得希望者対象	3年次編入学者は、3年次に履修・修得する。			

## 大学院

前期課程	後期課程
<b>【聖書神学関係】</b> 旧約聖書原典講読Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書原典積義Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書神学特講Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 旧約聖書学演習Ⅰ・Ⅱ アラム語 シリア語 古代オリエント史Ⅰ・Ⅱ 聖書考古学 アッカド語 新約聖書学特講Ⅰ・Ⅱ 新約聖書学演習 新約聖書学特研Ⅰ・Ⅱ 新約聖書原典積義Ⅰ・Ⅱ <b>【組織神学関係】</b> 組織神学特講Ⅰ・Ⅱ 組織神学特研Ⅰ・Ⅱ 組織神学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 信条学 <b>【歴史神学関係】</b> 教理史演習Ⅰ・Ⅱ 教会史特講Ⅰ・Ⅱ 教理史特講Ⅰ・Ⅱ 教会史演習 英国教会史 <b>【実践神学関係】</b> キリスト教教育特講 キリスト教教育特研 実践神学演習 宗教社会学演習 教会音楽 牧会心理学特講 牧会カウンセリング特研 臨床牧会教育 牧会心理学 説教学演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ 礼拝学演習 牧会学演習 総合特別講義 <b>【専攻間共同科目】</b> アジア伝道論演習 日本伝道論演習 共同演習 <b>【論文演習】</b> 修士論文指導演習 旧約神学Ⅰ・Ⅱ 修士論文指導演習 新約神学Ⅰ・Ⅱ 修士論文指導演習 組織神学Ⅰ・Ⅱ 修士論文指導演習 歴史神学Ⅰ・Ⅱ	<b>【聖書神学関係】</b> 旧約聖書神学特殊研究 旧約聖書文学特殊研究 旧約聖書原典特殊研究 聖書語学特殊研究 聖書考古学特殊研究 新約聖書神学特殊研究 新約聖書原典特殊研究 聖書解釈学特殊研究 原始キリスト教特殊研究 <b>【組織神学関係】</b> 教義学特殊研究 現代神学特殊研究 現代哲学特殊研究 キリスト教社会倫理特殊研究 宗教改革神学特殊研究 組織神学共同演習 <b>【歴史神学関係】</b> 神学史特殊研究 宗教改革史特殊研究 教父学特殊研究 日本宗教思想史特殊研究 <b>【実践神学関係】</b> キリスト教化学特殊研究 <b>【論文演習】</b> 修士論文指導演習 聖書神学 修士論文指導演習 組織神学



自分ではできないと思っても神さまが力を与えてくださり、成し遂げることができることを実感しました。

教師夫人で伝道師でもあった祖母が残した文集を読んでいる時に「あなたも伝道師になりなさい」という声が聞こえたのですが、私は言葉を選びとって伝えることが苦手で、人前で話すことも嫌いでしたので、御言葉を聞きたく務めなどできるわけがないと思いました。それでも教会で奉仕を続ける中で、ローマ書8章28節にあるように、召し出してくださった神さまが共にはたらいてくださるから、私に言葉が足りないとしても成し遂げることができるだろうという確信を得るようになりました。そして私の母教会の伝道師が東神大の出身で、東神大の大学院生もいましたので、2人の話を聞いていたこともあって神学生として実際に東神大に入ってからもギャップは

ありませんでした。普通の大学と同様にいろいろな人がいるし、ほかの教派の神学生もいますが、ここは本当に神学を学ぶところだという印象をより強くしたのです。編入してそろそろ1年になります。夏ごろは課題が多くてとても大変でした。それでもどうにか単位をいただくことができ、神さまが力を与えてくださって、自分ではできないことも成し遂げさせてくださったということを実感しました。女性の教職者や神学生が教会にいと、女性の一信徒としては男性には話せないことでも、ある程度自分の深いところまで押し出して話せますので、心強く感じられると思います。そのためにも、私自身神さまに力を与えていただい

森野真理

学部三年、一九八八年生まれ。大学卒業後、キリスト者学生にアルバイト勤務。オルガンと教会音楽を勉強するための大学入学を準備中、祖母の死を契機に召命を受け、編入学。



家事、子育て、宿題で1週間があつという間に過ぎてしまうのです。それでも、神学の学びはすごく楽しいと思います。

私は、前の大学では理系の勉強をしていましたので余計にそう思うのかもしれませんが、東神大の授業は、教えていらっしゃる先生の見識も、授業の中身もすごくレベルが高いと思います。学問的な聖書研究から、聖書の新たな側面を知る経験がします。旧約聖書の最も古い部分を書かれたのはたったの紀元前1000年頃の話。それを知るだけで聖書成立に人間の営みが関わったことに思いが至ります。また東神大には、神学を学ぶ神学大学という側面と、牧師になるための神学校という側面があります。授業の中で、時々先生がご自分の牧師としての体験や、牧会に出て遭遇する問題にどう対処するかと言った話をされることがあり、それもすごく面白い。それは

カリキュラムとしては取り入れられるようなことではないけれど、とても役立つ気がします。日々の生活では、わたしには妻と子どもが一人いることもあって、勉強時間を確保するのがなかなか難しいのが悩みです。家事の手伝いと子どもの世話をし、子どもが寝た後にやっと宿題をやるので、それだけで一週間があつという間に過ぎてしまうのです。教授からは、授業の学びの一方で、自分の神学のテーマを見つけるために興味のある本を読むとよいと助言されていたのですが、その時間は充分にとれないままここまで来てしまいました。それでも、神学の学びはすごく楽しいと思います。教会で生きていくからには、神学の学びを続けたいと思っています。

長倉基

学部四年、一九七二年生まれ。アメリカのIT企業に十七年勤務。その仕事を一生続けるのが悩み折るなかで、本当に身を捧げられるのは教会に仕えることだと気づいて、編入学。



信仰生活と結び合って学んでいくと自分の生きることとつながりが感じられ本当におもしろい。

岩住啓太

学部二年、一九九一年生まれ。高校卒業後二年間予備校に通う。不安定な自分に気づいて悩むなか、改めて教会に会い、神さまに生かしてもらっていると感じて入学。

僕は1年生から入学しましたので、一般教養科目も履修するなど、神学生というイメージがあまりありませんでした。いよいよ授業で聖書を学び始めた時には、これで神学が始まるんだと緊張したものです。また、語学の学びがすごく多くほかの大学に比べて大変ですが、例えばギリシャ語の勉強は将来原典で聖書を読むため、目的とやるのが一致した学びです。僕は寮に住んでいますので、学年の違う人や教派の異なる神学生と交わる機会も多く、共同浴場で神学の議論になったり、自分の悩みや信仰上の課題などを延々としゃべることもあります。そこには、ただ理論を学んでいるだけではなく、本当に自分の生き方につながっているというおもしろさがあり

ます。古代の教父の本を読んでいても、神さまを知ろうとすることに対する恐れがずらずらと書いてあるのに出くわし、時を隔ててはいますが、僕たちも同じことを学んでいるんだと思ったり、悩んでいることもいっしょだと感じてうれしくなります。何かを調べようとしても、時代が異なり背景は違うけれど、そのことについて考え、論じている人がすでにいて、信仰生活と結び合った学びは今の自分が生きることとつながっていると感じられ、信仰と関わって学ぶということは本当におもしろいと思います。授業が祈りから始まるのはすごいことですが、年齢層が幅広く誰が教授か学生かよくわからないなど、ちょっと不思議だなど思うところもあります。

東神大に入って一人ぼっちになることはありません。先生や仲間たち、そして何より神さまがいっぱいなのです。

百武真由美

大学院一年、一九八四年生まれ。大学のキリスト教学科卒業後、中高一貫校の聖書科教員に。三年後の退職にあたり、悩んだ末、御言葉にこだわりのつづけるよう助言を得て編入学。



私は日本基督教団の教会の出身ではなかったのですが、当初は教団の教会に仕える牧師というのはいやな人達だと思っていました。ところが東神大に入ってみると、案外普通の人が多く親近感ももてました。それでも、入学式で「神学校は召命共同体なんだ」と言われ、大きなインパクトがありました。授業を受ける中では、「全てが繋がっている」ということが印象的でした。聖書神学で習ったことが組織神学で生きてきて、それがさらに歴史神学に繋がって実践神学で結集するというように、全部が連関しているのです。先生方もそのことをわかっていらして、繋がるように話して下さるので、自分の中でピンとくるととても嬉しくなります。大学院に入ってから、説

教の回数が増えてきて、自分が本当に召しを受けているという確信と共に、自分が神さまの言葉を預かって語ることを本当にしているのかという問いが生れてきて、本番直前のような気持ちも加わってきました。これから東神大をめざす方たちに伝えたいのは、この大学に入って一人ぼっちになることはないということです。学びは苦しいことのほうが多いかもしれませんが、そのたびに自分の学びのために祈ってくれる教会、論し教えてくれる先生や仲間たち、なによりも御言葉をもって導いてくださる神さまがいっぱいなのです。学部4年と大学院1年の時に行なう夏期伝道実習でも、そのことを強く感じました。



# STUDENT LIFE

## SPRING

- 4月 入学式・宣誓式／オリエンテーション／クラス別懇談会
- 5月 全学懇談会／学生総会／運動会
- 6月 博士課程後期課程学生研究発表会

### 入学すると始まる“神学する生活”

神学は“学ぶ”だけではなく“神学する”もの。その本質は、講義や実習、独習に限らず、寝食を含む生活場面すべてにおいて神の真理を追究し、ときに情熱的あるいは理論的に、日々格闘する神学に励む。



入学式



運動会

運動会



日本伝道を担う青年の集い



日本伝道を担う青年の集い

## SUMMER

- 7月 夏期伝道オリエンテーション／夏期伝道社行祈禱会
- 8月 夏期伝道実習
- 9月 夏期伝道報告会／修士論文提出締切  
日本伝道を担う青年の集い

### 夏期伝道実習

学部4年次と大学院1年次の夏に、約4週間にわたって行われる必修プログラム。学生は全国各地の教会に遣わされ、牧師の指導のもと、説教や聖書研究、祈禱会の奨励など、様々な奉仕をしながら伝道者としての日常を学ぶ。

### 日本伝道を担う青年の集い

献身を考えている若い世代を対象に、毎年9月の第4土曜日に開催される集い。開会礼拝に始まり様々なテーマによる分団でのディスカッション、模擬授業、先輩伝道者の「証し」などがあり、神学校生活の一端を体験することができる。



### 学内礼拝

キャンパスにおける神学の学びと諸活動行事の中心に、神への信仰的応答としての礼拝がある。教師・学生・職員が皆、毎日の午前授業の合間に捧げられる礼拝を重んじることによって、知性を生かす霊性が互いに養われ、召命共同体が形成される。

### 委員会

学生会を中心とする各種委員会が、運動会や修養会、愛餐会などの行事を企画・運営したり、学生ラウンジを整備したりして、学生生活を支え合う。中には複数の委員を兼任する学生もいる。また、学年を超えた交流も育まれる。

緑豊かな東神大のキャンパスは、1年中活気に満ちています。学生と教師の距離が近く、時に真剣な議論を交わします。また、学生会が中心になって行う毎日の礼拝をはじめ、運動会、全学修養会、クリスマス祝会など行事も充実。そんな学生生活の一端をご紹介します。

## AUTUMN

- 10月 神学校日・説教奉仕
- 11月 全学修養会
- 12月 オープンキャンパス  
クリスマス礼拝／クリスマス愛餐会

### 神学校日

毎年10月の第2日曜日（派遣先の教会によって異なる場合もある）、神学生および教師が全国各地の教会に派遣されて説教奉仕を行う。同時に、祈りと献金によって東京神学大学を支えてくださる諸教会に改めて感謝する機会でもある。



ラウンジでのランチタイム

授業風景



クリスマス愛餐会



2012年のアジア伝道研修旅行



2012年度卒業生

## WINTER

- 1月 教職セミナー
- 2月 アジア伝道研修旅行（隔年）
- 3月 卒業礼拝／卒業・修了式

### 教職セミナー

毎年1月、全国から教職者（牧師、伝道師）と本学大学院修了を控えた神学生たちが、3日間寝食を共にしながら一主題のもと、講演やシンポジウム、分団等のプログラムを通して、今日の教会の課題を神学的に話し合う。卒業生や他教派の教職者も参加できる貴重な研修会である。

### アジア伝道研修旅行

アジア諸国の文化とキリスト教の歴史や課題を授業で学んだ後、現地を訪れてそれらを体得し、交流する研修旅行。隔年で実施している。

### クラス

学年ごとに「クラス」がある。クラスには担任教員がおり、週に1度のクラス別祈禱会で共に祈り、共に学び、助け合う。卒業後も交流は続き、キリストに呼び集められた同労者として、長く支え合う牧師たちも多い。

### 学生寮

キャンパス内には学生の自治による男子寮、女子寮がある。幅広い年齢層の学生が生活を共にし、「寮の交わりによって神学生生活が支えられた」という証言も多い。授業のある日の朝には寮拝があり、寮生が交代で奨励を担当する。





## 大学だけで終わらない神学の学び 卒業生が現場の原点としての東神大を語る座談会

### 自分のために命を捨ててくださった方のために生きたい

大住：お二人は東神大を卒業され、牧師として教会に仕えられているわけですが、いつごろ、どのようにして信仰に入り、伝道者として献身する決意をされたのでしょうか。

道家：私は名古屋の出身なのですが、最初、水戸の茨城大学人文学部で心理学を学びました。信仰に入ったのは20歳のころで、洗礼は水戸教会で受けました。そして卒業を前にして、当時、やはり始めていた牧会心理学を勉強しようと京都の同志社大学に願書を出しました。ところが、何か不手際があったのか、神の摂理だったのか、届いていないと言われたのです。それで1年棒に振って、名古屋に戻っている考えながら、親が通っていた金城教会に行くようになりました。そこで牧師に勧められ、献身に至ったということです。しかし教会にお仕えするという思いはあまりなく、牧師になってからも心理学を勉強できるからと言われて神学校に入ったのです。振り返ってみると、非常に邪道な入り方ですね。

小椋：私は、2002年のイースターに洗礼を受け、それから数年して東京神学大学に入りました。家族はクリスチャンではありませんでしたが、母と祖母は横浜英和の出身で、私自身も名古屋のキリスト教を基盤とする学校に行き

ました。そこでキリスト教と出会ったのです。献身の決意は、洗礼を受けたのとほぼ同時にしていました。私たちのために命を捨ててくださった方がいるということを受け入れた時、私自身もその方のために生きたいと思ったのです。

### 牧師という職業だからなのか、大変とか忙しいとか感じない

大住：お二人とも、動機はともかく、信仰に入られてから比較的短い期間で献身を決意されたようですね。では、いま牧師としての1週間は、ど

のような生活をなされているのかご紹介いただけますか。

道家：日曜日は礼拝の奉仕をして、それから教会の長老会や、週によっては委員会などに出席。また、西東京教区が主体となって立ち上げた郊外伝道のための立川伝道所の責任者をしていますので、毎日曜日、その夕礼拝に奉仕をしています。教団には、月水金の週3日は顔を出すことになっていますが、教会の集会や教区の仕事があればそちらを優先しています。火曜日と木曜日は教会にいて牧会や教会の事務で、祈禱会は木曜日に行い、火曜日に



日本基督教団 知立伝道所

**小椋実央** 牧師 (おぐら みお)

金城学院大学卒業後、社会人経験を経た後に東京神学大学学部3年編入。2009年に修了後、日本基督教団瀬戸永原教会において1年間伝道師として奉職。2010年より現任地へ。2011年冬、牧師按手。

聞き手  
**大住雄一**  
教授



日本基督教団 井草教会

**道家紀一** 牧師 (どうけのりかず)

茨城大学人文学部人文学科心理学専攻を卒業後、東京神学大学学部3年に編入。1989年大学院修士課程を修了後、日本基督教団小松島教会主任担任教師に就任。1991年秋、牧師按手。1997年4月から現任地。

は月に1回聖書会があるなど、1週間全部埋まっていますが、大変とか忙しいとかあまり感じないですね。

小椋：私は、まず日曜日は礼拝のご奉仕、説教は毎週あります。体がもちませんので、月曜日は丸1日休むようにしているのですが、地区の行事が月曜日に入ることがあって、なかなか難しいのが実情です。火曜日は、祈禱会や説教の準備を始めます。そして水曜日が教会の祈禱会、木・金は母校の中学校で聖書科の授業を受け持ち、土曜日は説教の準備です。昨年からは、伝道所の親教会である中京教会で、授業の前

後に祈禱会や週報印刷などの奉仕をしています。

### 教会は神によってつくられた人間の健やかな生き方を御言葉で説いていく

大住：小椋先生は、牧師になるということに対してどのようなイメージをお持ちでしたか。

小椋：もっと教会につきっきりになると思っていました。こんなにいろいろとすることがあるとは思ってもいなかったのです。赴任して2年目から、地区や教区の委員をしています。今は、地区の婦人会に属していて、教区の伝道部

と教区通信の委員でもあり、教区通信の委員会は割と頻りに集まりがあります。せめて一つの委員会だけならそれに集中できるんですが、そういう訳にもいかないのが現状です。教会も、事務の仕事がとても多いので、錯覚してしまうことがあります。というのも、私はもともと勤めをしていたので、パソコンに向かって何か事務仕事をしていると、牧師としてすごく務めを果たしているという気になってしまうんです。実はそれほど大したことはしていないと、反省的に思っています。そんなことより、ほんとうは受洗者が一人でも多く生み出される努力をしなければいけないのですが、神学校を卒業する前は、事務の仕事だとかを全部ではないにしろ、いろいろ担ってくださる方がいる教会に自分は仕えるだろうという勝手なイメージを持っていたんですが、今は、現実にはその大半を私が担っています。本当はそういう奉仕者をもっと育てていかなければいけないのだろうとは思っています。

大住：そういう奉仕者を育てるのが、牧師の仕事の一つとして大事なことなのですね。道家先生はいかがですか。

道家：やはり臨床心理学から入っていったので、実際に悩む人とどうやって一緒に歩いていけるかということを考えていました。ただ最終的に気づいたのは、教会は病気の人を分類してその人と関わることが主ではないなということ。よく「健やか」ということが言われますけど、教会は神によってつくられた人間の健やかな生き方をやはり御言葉で説いていくしかない。最終的には御言葉で秩序つけられた人間の健やかさに導いていかなければいけない。そこまで本気でつきあうのが牧師だと思うんですけども、そ





神学校に行くということは、そこに  
流れている空気に触れることだと思います。

[道家]

というのはほんとうにいろんなことを決めなければいけなくて、それこそ愛餐会でお茶を出すのか紅茶を出すのかということから始まって、牧師である私に最終決定を委ねられた時に、よりみんなが喜んで奉仕できるような方向を選ばなければならない。例えば紅茶のほうがお茶より倍金額がかかるとしても、そちらの方がみんなが喜んで奉仕ができるんだったらそちらを選んだ方がいいという場合もあるし、逆もあります。その時にどうやって考えるかという考え方を神学校で教わったかなと思います。

**大住:**それは小さなことのように、結構大事なことです。教会形成というのは、いろいろと難しい。こうしなければいけないということではなくて、たとえばみんなで作ることになっているのであれば、簡単なことでも自分一人ですしてしまうのではなく、みんなが集まるのを待つということが大事なのでしょう。道家先生はいかがですか。

**道家:**神学校に行くということは、4年間、あるいは6年間、その空気に触れるということだと思います。とにかく神学的にものごとを考えよう、どんなつまらないことでも、主が主語だ、神が主語だという考え方を、なんとなく、

ある意味では徹底的に、講義や神学生同士の交わりや生活の中で身につけることが、牧会に出てから生きていくに違いありません。だから、神学校にいる、その空気を吸うということはものすごく大事なことだと思います。それは、自己啓発とかほかのいろいろな言葉に置き換えられるかもしれませんが、結局、神学校、特に東京神学大学に流れている空気というのは、生活面まで徹底して流れている神を第一として組み立てるといふ考え方なんでしょうね。

**小椋:**それから、東京神学大学は召命共同体だという意識がはっきりしてますね。私は、献身というのは一人ひとりの決断でやることだと思っていましたが、その共同体に入ることによって自分も強められるし、悩んだり、苦しんだりしても、友人と共に祈り合い、お互いに支え合えるということです。私がこの東神大の教職セミナーに毎年参加するのも、やはりもう一度それを反芻したい、思い起こして元気をもらいたいということなのかもしれません。卒業間際は、早く伝道地に赴きたいというワクワク感と神学校の空気をもう少し味わっていたいという思いのせめぎ合いでした。でも、自分に繰り返して戒めていたのは、神学校はやはり学校

学問一般と同じように、神学は過去の研究との  
対話を進めていくことだと思います。

[小椋]



であって教会ではないということです。だから、ここに浸っていつまでも喜んでいるようではいけない。

### 東神大は、教会にお仕えするための学問を学ぶところ

**大住:**牧師になるのであれば神学校に行かなければならないんだろうとは思っても、そこでどういふことを学ぶのか、それでどのような牧師になれるのかということはいまあまりわからないだろうと思います。お二人は、東神大に入ってとまどった授業というのがありますか。

**小椋:**みんなとまどいましたけど、忘れないのは、入学していちばん最初の授業が教会史だったことです。先生が早口で初代の教会からキリスト教公認の時代まで一気に話されて、同級生はみんな頭の中が「？」という感じになりました。もうちょっとゆっくり進むのかと思っていました。

**道家:**私は、組織神学ですね。これはなんなんだろうと思いました。でも、今では一番大事なものだと考えています。それは、組織神学を学ぶことで、教会を秩序づけ、教会の枠をしっかりと持つことができるからです。東神大というのはやはり、教会に仕えるため

の聖書神学や歴史神学などを学ぶところで、それを束ねるのが組織神学だと思います。教義学とか弁証学とか倫理学とか、その区別さえ解らない時でも、組織神学の授業を受けていくうちに、教会と信仰はこういうふうと考えていくんだ、ということが身についていったんだと思います。それは、大学だけで終わらない作業で、牧師になってからも続けていることです。

**小椋:**神学に限らず学問一般がそうなのかもしれませんね。学問というのは積み重ねられた過去の研究との対話を進めていく、その仕方を学ぶための授業だったんだなと思います。組織神学の授業などは、牧師になって様々な課題に直面している今受けてみたいという思いがあります。

### 東神大では、広大な世界への扉が開かれる

**大住:**広大な世界に出会わされてしまっていて呆然としているのが、東神大の授業なのかもしれないですね。

**道家:**そうですね。東神大というのは地下水脈を掘ってしまったのでしょうか。掘ったあとどうするのか、作業ばかりだから悩むかもしれませんが、でも、それが福音の本質なんですね。

**小椋:**私は、初めてギリシャ語を習って原典で聖書を読んだ時のあの感動は忘れられません。それまでは新共同訳という窓から見た景色しか知らなかったのですが、この窓の向こうにこんなに広大な景色があったのかという。学生が陥りやすいのが、釈義、ギリシャ語で読む楽しさにはまってしまふことです。学部4年で夏期伝道に行くのに説教を書かなくてはならないのに、ギリシャ語を調べるのが楽しくて、それ以上先に進めない。でも、その楽しい経験を知っていてよかったと思います。掘れば掘るほど宝が出てくることですね。

## 東京神学大学後援会の働き

東京神学大学に入学した神学生は、日本基督教団をはじめ、各教団・教派の教職・信徒の皆さんの大いなる期待と夢をもって迎えられ、また背後でも支えられていることに気づきます。具体的な現れは、後援会という組織を通して、日本全国にある教会やキリスト教の学校・諸団体や教職・信徒の皆さんから寄せられる様々な形の献金・寄付金です。

東神大の後援会活動は学校の発足と合わせて始められ、今

日まで絶えることなく財政面で東神大を支えてきており、最近では大学の年間収入の49パーセントが献金・寄付金で賄われています。この負担率は欧米の大学のそれには及ばないものの、日本国内の他の大学のそれと比べれば跳びぬけて高い率です。神学校の特別な体質と言ってもよいでしょう。

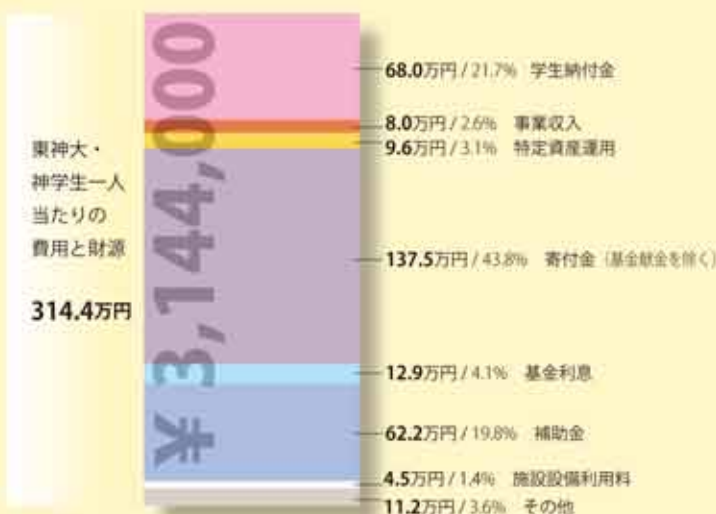
しかし、これは決して危惧することではありません。学校開設当時から教会の教職・信徒の皆さんが、神学校の働きのために祈り支えようとされている、その息遣いがここに現れているのです。教会と神学校とは正に車の両輪です。

東神大の後援会は、日本基督教団の教区にほぼ対応した形で、地域ごとに地区後援会が組織され、教会・信徒の皆さん

に献金を呼びかけております。特に2007年からは10年計画を立て一層の拡充を図る運動を進めており、大きな目標としては、年間収入の56パーセントを献金・寄付金でお支えできることを目指しています。地区後援会では、随時、講演会や報告会、また夏には神学生の夏期伝道実習の受け入れに関する支援も行っております。

支援者の皆様には、東神大を一層身近に覚えていただき、祈り、かつご協力いただけるようお願いいたします。

後援会長 銀座教会信徒 岩澤 高





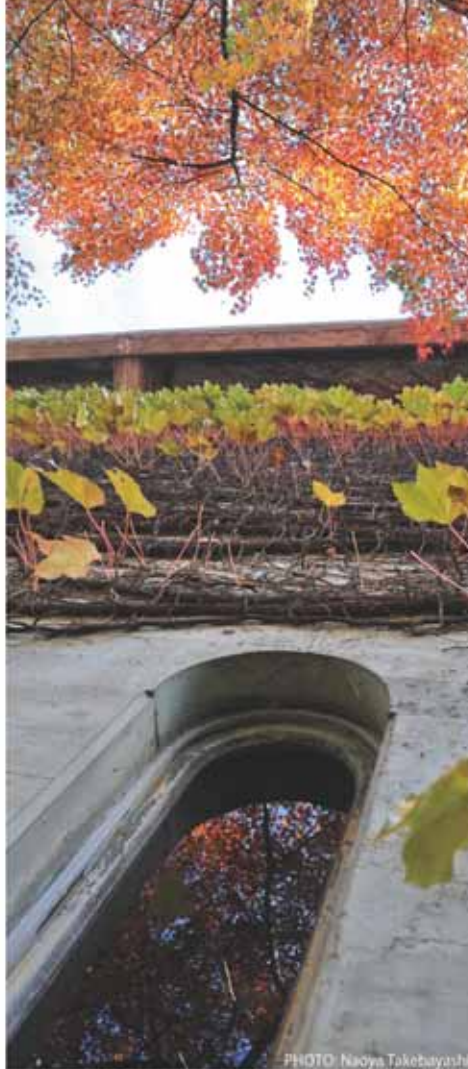


PHOTO: Naoya Takebayashi

## 東京神学大学

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-30

TEL: 0422-32-4185

FAX: 0422-33-0667

E-mail [kyoumuka@tuts.ac.jp](mailto:kyoumuka@tuts.ac.jp)

URL <http://www.tuts.ac.jp/>

東京神学大学では毎年11月・2月・3月に入学試験を行います。  
学生募集要項の請求やお問い合わせは、教務課入試係まで。

### ●JR中央線 三鷹駅南口

小田急バス2番乗り場より「国際基督教大学」、「調布駅北口」、  
「武蔵小金井駅」いずれも『西野』下車 徒歩5分

### ●JR中央線 武蔵境南口

小田急バス2番乗り場より「国際基督教大学」  
3番乗り場より「狛江駅北口」  
4番乗り場より「吉祥寺駅」、いずれも『西野』下車 徒歩5分

